

2015>>>2019

城北学区住民福祉活動計画

計画の期間

この計画は 2015 年度（平成 27 年度）から 2019 年度（平成 31 年度）の間で取り組むものです。

きらめき城北 くらしプラン

【プラン名に込めた思い】

“きらめき”は、琵琶湖のさざなみが太陽に照らされて、キラキラと輝いている様子をイメージしています。

この計画を推進することで、城北学区が元気な地域、支え合う地域となり、住民みんなの笑顔がキラキラ輝く暮らしを実現したいという思いを込めました。



※上の写真は城北学区内にある代表的な施設や場所です。

6+

策定までのあゆみ

この計画を作成するにあたり、15名のメンバーで計6回の懇談会と数回の部会等を開催しながら、学区内の課題や今後必要と思われる取り組みを話し合ってきました。「こんな学区にしたい」という思いが詰まった計画ですが、地域の特性や課題は異なるのが実際です。この計画が1つの指針となり、それぞれの地域で、具体的な行動につながっていくことを願っています。

きらめき城北くらしプラン

(城北学区住民福祉活動計画)

計画の推進期間 平成27年度～平成31年度

レイアウトにも、こんな思いが

- 3つの推進スローガンは、課題や取り組みなどが重なり、それぞれがつながり合って福祉あいことばの実現を目指すことを示しています。
- 「福祉あいことば」「推進スローガン」「具体的な取り組み例」の背面に、大きな三角形を置くことで、縦横のつながりを表しています。

城北学区
福祉あいことば

笑顔でつながる

ふくし

のまち城北

「ふくし」は

- ㊦だんの ㊧らしの ㊨あわせ
をかなえていくことです。

地域の住民が一つになって

これらの取り組みをより充実させ、進めていくためには、さらなる話し合いと協働の場、具体的な活動が必要です。



推進スローガン

つながり

つながり
～小さな輪から
つながり
大きな和へ～

健康・生きがい

健康長寿学区
“城北”をつくろう

安心・安全

みんなでつくろう！
安心・安全に住めるまち

具体的な取り組みの例

①地域の小さな活動から つながりづくり

- ・趣味のサークル活動など、身近なところからのふれあいを（介護予防体操、認知症予防学習、畑づくり、コーラスなど）

②子どもを中心に 世代を超えたつながりづくり

- ・子どもの行事に参加し、親や祖父母を巻き込んだ活動につなげよう（子どもの発表会、花壇づくり、祭り、地藏盆、もちつき大会など）

③あいさつや声かけで 日頃から顔の見える関係づくり

- ・困ったとき、いざというときに声をかけ合える関係づくりを進めよう
- ・身近に相談できる人づくりに取り組もう

④誰もが気軽に集える 交流の場づくり

- ・いつでもウェルカムの心で、自然なお付き合いを
- ・和やかな場づくり、参加しづらい方への声かけを



みんなの手をつなぎ合おう
輪
互いに大切に、協力し合おう
和

①運動を通じた 健康づくり

- ・朝のラジオ体操を学区全体で取り組もう（東西住民の交わりをつくろう）（小学校の前庭などで実施 ⇒ 将来的には総合運動場(国体施設)で)
- ・日頃のウォーキングを健康づくりにつなげよう⇒ウォーキング後に集まろう
- ・健康推進員さんや体育振興会の方から健康について話を聞こう
- ・地域通貨「彦」を活用しよう（団体への寄付や地域貢献など）



②食を通じた 健康づくり

- ・健康学習、料理教室等を通して1日30品目・早寝早起きのススメ・健康カルタづくり

③城北の自然を生かした 生きがいづくり

- ・松原の休耕地を活用するなど家庭菜園に取り組み、収穫野菜で食育や生きがいづくりに取り組もう
- ・畑の作り方を地域の人に聞いてみよう（城北小、西中などの取り組み大人バージョン）
- ・地域の中の人材(くらしに役立つ知識・技術を持つ人)を生かして、教える人と共に生きがいづくりを進めよう

①地域の実情に応じた 自主防災の体制づくり

- ・講座や体験型の学習会等を開き、意識を高めよう
- ・避難場所等を確認するなど、訓練に取り組もう
- ・連絡網の作成やマップ作りに取り組み、具体的に「見える化」していこう



②互いに気にかけて 見守り合える地域づくり

- ・子どもから高齢者、気になる人、家族など、多様な世代への見守り
- ・例えばこんな見守り“三段活用”
ソフト(そっと)見守り⇒回覧板は顔を合わせて手から手へ⇒時には“おせっかい”

③ちょっとしたお手伝いなど日常のくらし支援で 安心の輪づくり

- ・“ちょっとついで”のゴミ出しや電球の交換、買い物のお手伝い
- ・普段の暮らしのなかでの子育て家庭への手助け など
- ・困った時のちょっと「助けて」が言える「支えられ上手」なご近所さん

私たちの城北学区

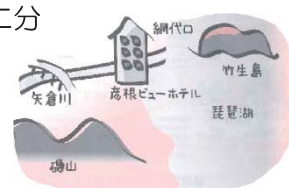


城北学区は、昭和53年(1978年)松原内湖干拓地の現在地へ小学校校舎の新築移転を機に、旧佐和山城・城西両学区の一部を編入して現学区が誕生しました。

学区は市北部に位置し、千々の松原、磯山、佐和山、旧港湾等に囲まれ、美しく豊かな自然に恵まれています。また、高等学校や大学、ミシガン州立大学連合日本センター、総合運動場・体育センター、清涼寺・龍潭寺、佐和山城跡、名勝彦根藩松原下屋敷(お浜御殿)庭園などの施設や歴史遺産もあり、文化の香り高い地域でもあります。

学区の中央部には緑豊かな田園が広がっていますが、宅地化の波もあり、新しい住宅地も増えてきました。これらのことから、学区は大きく西部と東部に二分されています。以前は湖の豊富な水を利用して大きな紡績工場がありましたが、現在はショッピングセンターに変わっています。

平成36年には、2巡目の開催となる国体の主会場がやってきます。



数字で見る城北学区の“今”

《人口の構成》

(平成27年2月末現在)

	0~4歳	5~19歳	20~39歳	40~64歳	65歳以上	合計
人数	286人	683人	1,366人	1,564人	1,129人	5,028人
構成率	5.7%	13.6%	27.2%	31.1%	22.5%	

※四捨五入の関係上100%になりません。

出典/彦根市

《世帯数や高齢化率等》

(平成27年2月末現在)

世帯数	2,157世帯	高齢者のみの世帯数	481世帯
高齢化率	22.5%	1人暮らし高齢者数	282人

出典/彦根市

《城北学区の人口推移》

(各年10月1日現在)

	0~14歳	15~64歳	65歳以上	高齢化率	総人口(人)	世帯数
平成22年	619	3,042	963	20.8%	4,624	1,952
平成23年	685	3,153	978	20.3%	4,816	2,044
平成24年	724	3,156	1,029	21.0%	4,909	2,024
平成25年	742	3,130	1,060	21.5%	4,932	2,124
平成26年	759	3,155	1,108	22.1%	5,022	2,116

出典/彦根市統計書

きらめき城北くらしプラン(城北学区住民福祉活動計画)

策定：城北学区住民福祉懇談会

編集・発行：社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670 彦根市福祉センター別館1階

【でんわ】 (0749)22-2821 【ファックス】 (0749)22-2841

【ホームページ】 <http://www.hikone-shakyo.or.jp>